

主体的な学びに関する 心理学研究

教育心理学講座
准教授
生田 淳一

キーワード

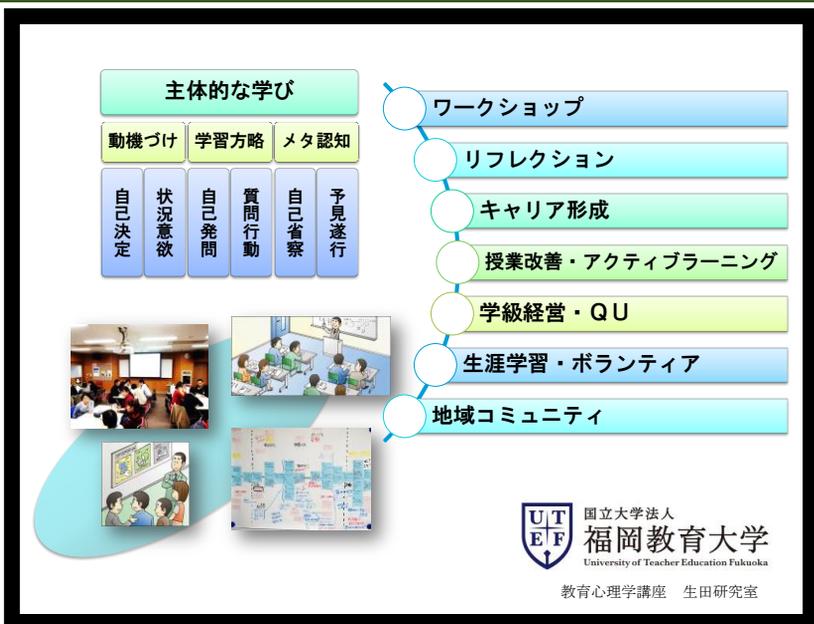
・主体的な学び、動機づけ、学習方略、メタ認知、授業づくり、学級経営(集団づくり)

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

「主体的な学びとは何か？」について、心理学の概念を用いながら、探求しています。その中で、授業改善などの具体的な方策を検討することに最も力を入れて取り組んでいます。最近注目されているアクティブラーニングというキーワードもこの問いの中に位置づけて研究を進めています。

特に、動機づけ、学習方略、メタ認知といった心理学的な概念、それを包括するような自己調整学習という概念を用いながら、子どもの学習活動に迫っています。

子どもの学習意欲やそれを支える授業づくり、学級集団づくりについて、「理論と実践の架け橋」となるように、教育実践に関わりながら研究を進めています。



UT
EF
国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka
教育心理学講座 生田研究室

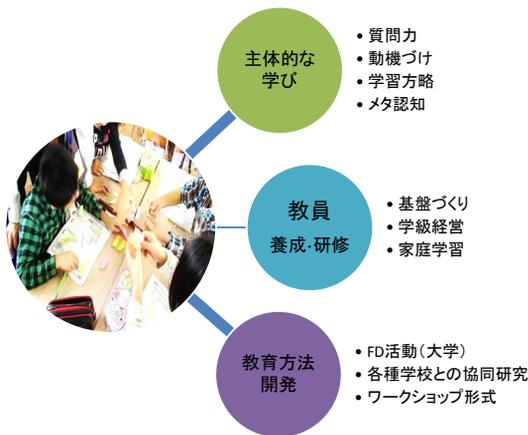
成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

子どもの主体的な学びを引き出すような学習環境づくりについて、共同研究を進めることができます。

たとえば、学校におけるPDCAマネジメントサイクルのなかで課題分析を行う際のデータ分析など、心理学研究の手法を利用した参画が可能です。生活アンケートやQU、アセスの結果について、さらに詳しい分析をすることや、結果の解釈について多面的な読み取りを提案することで、課題分析を進めることができます。QUを活用した学級経営改善の取組のように、根拠を活用した学校改善において、研究の成果を応用することができますと考えています。

また、さまざまな方々と協同し、研修や共同研究の中で、理論と実践の往還を実現し、教室での児童・生徒の主体的な学びを追求していきたいと考えています。

生田研究室における今後の研究・教育活動の全体像



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・福岡県内、市内の小学校・中学校・高等学校における校内研修の講師(学習意欲やQUなど)
- ・平成25年～27年度福岡県重点課題研究推進連絡協議会専門委員:「基礎・基本を活用する力をはぐくむ授業改善」
- ・平成27年～29年度福岡県立高校『新たな学びプロジェクト』アドバイザー
- ・学校運営協議会委員(学識経験者として):春日市立大谷小学校, 大野城市立大野北小学校 など